

国際コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科

教育理念、人材養成の目的、教育方針(三つのポリシー)

教育理念

【国際コミュニケーション学部】

コミュニケーションをとおして、平和で豊かな多文化共生社会の実現を目指す。

【国際コミュニケーション学科】

地域と世界をつなぐ語学力と国際感覚をもって、グローバル化する社会に貢献する。

人材養成の目的

【国際コミュニケーション学部】

コミュニケーション力をもって、社会の課題解決に取り組み、グローバル化する現代社会に貢献できる人材を養成する。

【国際コミュニケーション学科】

地域社会及び地域産業のグローバル化に貢献し、世界と地域をつなぐことのできる語学力と国際感覚を持ったグローバル人材を養成する。

1. 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー:DP)

【国際コミュニケーション学部】

本学部及び各学科の人材養成の目的に沿って、各学科で示されたディプロマ・ポリシーの要件を満たし、所定の単位を修得した者に、学位を授与する。

【国際コミュニケーション学科】

人材養成の目的に沿って、以下の要件を満たし、所定の単位を修得した者に、学士(文学)の学位を授与する。

(知識・技能)

(1) 外国語(日本語を母語とする学生は英語または中国語、日本語を母語としない学生は日本語)の実践的な運用能力を身につけている。

(思考力・判断力・表現力)

(2) 言語、国際文化、日本文化、国際情勢といった専門分野についての知識を理解し、国際コミュニケーションについて統合的に理解している。

(主体性・多様性・協働性)

(3) 獲得した知識に基づいて自分の意見を論理的に述べることができる。

(4) 多様な文化的社会的背景を持つ人々とも主体的にコミュニケーションを図り、協働することができる。

2. 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー:CP)

【国際コミュニケーション学部】

本学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる人材を養成するため、各学科でカリキュラム・ポリシーを定める。

【国際コミュニケーション学科】

(1) 専門性を身につけるための「専門教育科目群」と幅広い教養や社会人として必要な能力を身につけるための「一般教育科目群」を配置する。

(2) 「専門教育科目」の中に、「外国語科目」「国際コミュニケーション科目」「演習科目」を配置する。

①「外国語科目」では、初年次に英語・中国語の2言語を学修し、2年次以降はそのうち1言語を集中的に学ぶことで外国語の実践的な運用能力を段階的に向上させる体系的なカリキュラムを導入する。日本語を母語としない学生については、英語ないし中国語の代わりに日本語科目を開講する。

②「国際コミュニケーション科目」では、「共通科目」「言語理解科目」「国際文化理解科目」「文化理解科目」「国際理解科目」「海外留学科目」を配置し、それぞれの専門分野の専門科目を段階的にかつ統合的に学ぶ体系的なカリキュラムを導入する。

③「演習科目」では、アカデミック・スキルを身につける「基礎ゼミ」や読解力の向上を図る「アカデミック・リーディング」から専門分野での専門性を高めるための「専門ゼミ」、専門分野における問題を探求し自分の意見を論理的に表現する卒業研究を必修とする「卒業研究ゼミ」へと段階的に開講する。また、実体験から本学科の学びを体得するためにPBL科目を開講する。

(3) 「一般教育科目」の中に、「教養科目」「心理科目」「キャリア科目」を配置する。

①「教養科目」では、社会人に求められる教養として人文科学、社会科学、自然科学分野の基礎科目を開講する。

②「心理科目」では、より円滑なコミュニケーションを図るようになるため心理学の基礎科目を開講する。

③「データ・サイエンス科目」では、社会人として必要な情報処理の基礎知識を得るための科目を開講する。

④「キャリア科目」では、社会とのつながりを意識し、自身の学習経験を振り返るための科目を開講する。

(学修方法)

(1) 語学教育を含めて、全科目において能動的学修を取り入れる。

(2) 英語または中国語の実践的な運用能力を高めるため、語学研修や語学留学などのプログラムを提供する。

(3) 課題解決能力の向上と協働経験のため、地域や国際社会をフィールドにしたプロジェクトなど、教室外学習プログラムを提供する。

(学修成果の評価)

(1) シラバスに到達目標・評価基準を明示し、成績評価は到達度評価を基本とし、「妥当性」「客観性」「透明性」「公正性」を徹底した厳格な成績評価を行う。

(2) 外部試験を活用して語学力を測定する。

(3) ディプロマ・ポリシーで示された資質・能力の達成状況を確認するために、評価ルーブリックを活用して総括的評価を行う。

3. 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー:AP)

【国際コミュニケーション学部】

本学部では、ディプロマ・ポリシーに示した資質・能力を身につけている学生の育成を目指し、各学科でアドミッション・ポリシーを定める。

【国際コミュニケーション学科】

本学科では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに定める教育を受けるために、以下の能力、目的意識、意欲を持った人を広く受け入れる。入学者選抜は多様な選抜方法により、多面的・総合的に評価する。

(1) 英語・中国語など外国語学修に意欲と関心を持っている人

(2) 英語または中国語の基礎的な運用能力を持っている人

(3) 大学の授業を理解するための日本語リテラシーを持っている人

(4) 海外留学等に積極的に取り組む意欲と関心を持っている人

(5) 多様な文化的社会的背景を持つ人々との協働に積極的に取り組む意欲のある人